

政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 01 ごみ減量推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

・循環型都市の構築を目指し、生ごみの減量促進、雑がみ等資源物回収など既存事業に加え、古紙、草木類、木製家具類などの資源リサイクルに係る実証事業を行い、ごみの減量を推進する。
・企業や関連団体等と連携して、ごみの減量と3Rの取り組みを推進する。
・事業系ごみの不当排出抑制の強化を図り、ごみの減量や資源化を推進する。
・市民と連携してごみの減量を推進するため、環境美化推進員等を対象に研修会の開催を行う。
・ごみ減量施策の一つとして、家庭ごみ有料化の検討を進める。
・大規模災害に備え、速やかに災害廃棄物への対応ができるよう研修やマニュアルの整備を進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	135,200	133,871	133,861	153,113	160,323	
決算	117,323	110,055	104,812	137,928		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	82,700	82,700	96,700	110,700	110,700	
年間経費(予算又は決算+A+B)	200,023	192,755	201,512	248,628	271,023	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ごみ総排出量 ※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値	t	目標	-	-	-	214,146	210,219	206,352
		実績	221,879	214,378	210,948	207,248		
資源化率 ※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値	%	目標	-	-	-	27.8	28.2	28.6
		実績	23.5	24.7	27.3	28.2		

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

・生ごみの減量のため、堆肥化容器の無料配布や生ごみ処理機の購入費補助を行った。
・資源物のリサイクルの推進のため、市の施設で古紙古着等の資源物を回収し、資源物集団回収団体に対して協力金を交付した。雑がみの啓発のため、雑がみ分別袋を作成し、園・学校、商業施設等で配布した。
・ごみ減量教育の推進のため、小学生へ「こどもモッタイナイ大作戦」の実施、社会科副読本の配付を行った。
・ごみ減量の啓発のため、自治会や学校等で出前講座等を実施した。ごみの減量方法を載せた「ごみ減量ガイドブック」を作成し全戸配布した。
・家庭ごみ有料化制度に関する素案を作成し、説明会を開催するなどして、市民意見を募集するとともに制度の検討を進めた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
------	------

以下の事業により、ごみの減量・資源化を進めたが、今後の事業展開を見据えた実証事業の実施により効果や課題の検証が必要である。また、企業や関連団体との連携も求められる。

- ・生ごみの減量のため、堆肥化容器の無料配布や生ごみ処理機の購入費補助を行った。
- ・資源物のリサイクルの推進のため、市の施設で古紙古着等の資源物を回収し、資源物集団回収団体に対して協力金を交付した。雑がみの啓発のため、雑がみ分別袋を作成し、園・学校、商業施設等で配布した。
- ・ごみ減量教育の推進のため、小学生へ「こどもモッタイナイ大作戦」の実施、社会科副読本の配付を行った。
- ・ごみ減量の啓発のため、自治会や学校等で出前講座等を実施した。ごみの減量方法を載せた「ごみ減量ガイドブック」を作成し全戸配布した。
- ・3Rの推進のため、エコレシビやサステナブルな暮らしを实践して投稿するInstagramキャンペーンを実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ減量・リサイクル推進事業	○	○		168,075	130,555	5.0			0.9
2	事業系一般廃棄物対策事業	-	-		13,246	4,446	1.0	0.5		
3	ごみ減量推進運営経費	-	-		71,352	15,772	7.9			0.1
4	一般廃棄物許可収集運搬支援事業(交付金)	-	-		18,350	9,550	1.0	0.5		
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					271,023	160,323	14.9	1.0		1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 ごみ減量・リサイクル推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民との協働により、家庭から排出されるごみの減量施策を推進し、持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1980	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-5(2)ウ				

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費							
事業とゴールの関連性	ごみ減量、リサイクル事業を推進し、資源保護や地球環境保全の促進及び循環型社会の形成を図る。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	126,437	120,192	121,198	119,841	130,555	
	決算	109,806	103,288	95,783	108,676		
	国・県支出	1,445	1,748	2,070	1,187	3,294	
	市債						
	その他	45,000	44,000	16,000		12,000	
	一般財源	63,361	57,540	77,713	107,489	115,261	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	36,820	36,120	36,120	37,520	37,520	
人工	正規	4.9	4.8	4.8	5.0	5.0	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
年間経費(予算又は決算+A+B)		146,626	139,408	131,903	146,196	168,075	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
ごみの総排出量(t) ※資源物を含む		目標	248,724	246,378	244,733	243,071	-	-
		実績	253,821	243,046	238,417	234,034		
ごみ総排出量(t) ※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値、 資源物を含まない		目標	-	-	-	214,146	210,219	206,352
		実績	221,879	214,378	210,948	207,248		
資源化率(%) ※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値		目標	-	-	-	27.8	28.2	28.6
		実績	23.5	24.7	27.3	28.2		
一人1日あたりの家庭ごみ排出量(g)		目標	420	350	350	350	466.5	454
		実績	495	504	492	485		
学校連携事業 参加児童数(%)		目標	45	48	50	52	53	55
		実績	41.11	33.76	37.66	40.61		

(管理番号)

2023年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
04 01 03 01 001505000 01 ごみ減量推進課 鈴木 浩之 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

家庭から排出されるもえるごみの多くを占める「生ごみ」「紙ごみ」の減量を推進し、一人1日当たりの家庭系ごみ排出量が350g/人・日を目指した。

- ・生ごみの減量として、生ごみ堆肥化容器の無料配付を継続し、生ごみ処理機購入費の補助金の予算を拡充して推進を図った。
- ・資源物のリサイクルの推進として、市施設での資源物回収や、資源物集団回収団体への協力金交付、市・民間の資源物拠点回収の情報を地図情報サイトへの掲載を行った。
- ・ごみ減量教育として、小学校での「こどもモッタイナイ大作戦」の実施や、小学4年生に社会科副読本を配付した。
- ・3Rの推進のため、エコレシビやサステナブルな暮らしを实践して投稿する、環境×SDGs Instagramキャンペーンを実施した。
- ・事業者と連携したごみ減量推進として、「脱プラスチック推進協力事業者」や「食品ロス削減協力店」登録制度を継続した。
- ・ごみ減量の啓発として、自治会や学校等でごみ減量に関する出前講座等の開催などの啓発活動を行った。
- ・環境美化推進員区会議及び研修会等を開催して、環境美化推進員や自治会と連携してごみ減量啓発を実施した。
- ・家庭ごみ有料化制度案に関する説明会の実施や説明動画を公開し、ごみ減量の必要性と家庭ごみ有料化の検討状況について市民への周知を行うと共に、意見募集を行った。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・生ごみを減量するため、生ごみ堆肥化容器を878世帯(2021年は474世帯)へ配付、生ごみ処理機購入補助金を244世帯(2021年は159世帯)に交付した。
- ・資源物のリサイクルを推進するため、市施設での資源物回収や、資源物集団回収団体への協力金交付、市・民間の資源物拠点回収の情報を地図情報サイトへ掲載した。また、雑がみの周知のため、園・学校等向けの雑がみ分別袋を32,372枚配布するとともに、若者等ごみ減量に関心の薄い層に向けた啓発として、文芸大の学生がデザインした雑がみ分別袋を無印良品やイオン等で約45,000枚配布した。
- ・ごみ減量教育として、食事の食べきり、雑がみ・プラごみ集めに取り組む「こどもモッタイナイ大作戦」を実施し、16,969人が参加した。小学4年生全員に社会科副読本を配付した。小中学校7校へコンポストを配付し、児童生徒が給食の生ごみ等を使った堆肥作りを通して循環型社会を体験した。
- ・3Rを推進するため、環境×SDGs Instagramキャンペーンを実施し、エコレシビ119件、サステナブルな暮らし354件の投稿があった。加えて、リユースの推進のため、リユースサイトを運営する事業者2者と連携協定を締結した。
- ・事業者と連携したごみ減量推進の登録制度として、「脱プラスチック推進協力事業者」18社、「食品ロス削減協力店」222店の登録があった。
- ・自治会や学校等で出前講座を27回(1,324人)実施。ごみの具体的な減量方法を分かりやすく載せた「ごみ減量ガイドブック」を34万部作成し、全戸配布した。
- ・環境美化の推進や地域でのごみ減量の推進のため、環境美化推進員を対象に区会議及び研修会を開催した。(区会議:8会場・参加者668人、研修会参加者733人)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・アフターコロナの社会状況に合わせ、啓発方法等を検討する必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・生ごみ堆肥化容器の配付数と生ごみ処理機購入補助金の交付数が前年度から大きく増加した。
- ・学生・企業と連携し、新デザインの雑がみ分別袋を配布することで、若者を中心とした幅広い世代に雑がみの分別を啓発した。
- ・説明会等での市民の要望を受けて「ごみ減量ガイドブック」を作成して全戸配布し、ごみの具体的な減量方法を周知した。
- ・企業等のSDGs意識の高まりを受け、企業や関連団体等と連携した取り組みが求められている。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・既存事業の実施に加え、事業の拡充や今後の事業展開を見据えた実証事業の取り組みにより、ごみの減量を推進する。
- ・企業や関連団体等と連携して、ごみの減量と3Rの取り組みを推進する。

(管理番号)

2023年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

04

01

03

01

001505000

01

ごみ減量推進課

鈴木 浩之

2023.7.1

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)



- ・雑がみ等の資源物回収や生ごみ減量等による徹底的な廃棄物の資源化と減量の推進に取り組む。
- ・市施設での資源物回収に加え、草木類のリサイクルの実証事業を行い、効果を検証する。
- ・生ごみ堆肥化容器の無料配付と生ごみ処理機購入補助金を継続し、生ごみの減量を推進する。
- ・小学校での「こどもモッタイナイ大作戦」の実施や、小学4年生への社会科副読本の配付により、ごみ減量教育を推進する。
- ・資源物集団回収団体へ協力金を交付し、民間の資源物拠点回収情報を調査して地図情報サイトへ掲載する。
- ・雑がみ分別袋を作成し、園・学校、企業等へ配付して雑がみのリサイクルを周知する。
- ・食品ロスと食を通じた健康づくり等を関連付けた啓発を企画し、企業等と連携して実施することで、食品ロスの削減を啓発する。
- ・「脱プラスチック推進協力事業者」と「食品ロス削減協力店」の登録制度を継続し、企業と連携してごみの減量を図る。
- ・自治会や学校等で出前講座等を開催し、ごみの減量の実践を呼び掛ける。

事業シート (事業名) 02 事業系一般廃棄物対策事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

<ul style="list-style-type: none"> ・事業系一般廃棄物の適正処理・減量資源化に向けた取組を行う。 ・廃棄物処理法に基づく一般廃棄物処理業許可事務等を執行する。
--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1987	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物収集運搬業者と未契約の排出事業者への啓発DM発送などを通じて、集積所に不当排出される事業系ごみの適正処理について直接周知する。 ・大規模建築物所有事業者向けに計画書の提出及び立入検査などを実施し、事業系一般廃棄物の適正処理・減量資源化について指導・周知する。 ・清掃工場で、産業廃棄物や搬入不適物が混入されていないか展開検査を継続実施する。 ・事業系古紙の搬入規制を継続実施する。 								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算					4,446	
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他					480	
	一般財源					3,966	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)					8,800	
人工	正規					1.0	
	再任用(31h)					0.5	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)						13,246	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
ごみ総排出量(t) ※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値		目標	—	—	—	214,146	210,219	206,352
		実績	221,879	214,378	210,948	207,248		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

※以下の内容をごみ減量推進運営費にて実施

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行った。
- ・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行った。
- ・市内集積所でパトロールを実施し、事業系一般廃棄物の減量・適正処理や不当排出防止に関する指導・啓発を行った。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・一般廃棄物処理業許可事務(更新許可:16件、事業継承に伴う新規許可:1件)、一般廃棄物再生利用業指定事務(延長指定:7件)を行った。
- ・大規模建築物から排出される廃棄物の現状把握と減量・資源化・適正処理の意識を高めてもらうため、同所有者に対して関係計画書の提出と管理責任者の選任を求めると同時に、立入検査を実施した。(計画書提出数:377件、立入件数:60件)
- ・市内集積所200箇所にてパトロールを実施し、14件の指導を行った。
- ・一般廃棄物収集運搬許可業者(51社/対象:56社)に対し、一般廃棄物収集運搬事業者支援交付金を交付した(8,634千円)。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナ禍の影響が徐々に収束を見せる中、集積所への不当排出防止に係る指導・啓発については継続する必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・一般廃棄物処理業許可及び一般廃棄物再生利用業指定等に係る事務及び大規模建築物所有事業者に対する事務を継続する。
- ・事業系一般廃棄物の減量・適正処理や不当排出防止に関する指導・啓発について引き続き実施していく必要がある。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業系ごみの集積所への不当排出事案については、前年度のパトロール実施をふまえ、引き続き、市内事業者向けに意識浸透を図る必要がある。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・市内排出事業者向けに不当排出防止や事業系廃棄物の適正処理に関するDMを送付し、指導・啓発を図る。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行う。
- ・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行う。

事業シート (事業名) 03 ごみ減量推進運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・ごみ減量推進費の業務を円滑に運営する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1987	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性	・生活環境改善活動功労者表彰制度により、ごみの減量・リサイクルの推進やごみの分別収集への協力等の活動を行った団体及び個人に対して表彰を行い、ごみの発生防止、削減、再生利用を啓発する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	8,763	13,679	12,663	23,815	15,772	
	決算	7,517	6,767	9,029	20,618		
	国・県支出				3,269	4,503	
	市債						
	その他	490	160	480	170		
	一般財源	7,027	6,607	8,549	17,179	11,269	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	45,880	46,580	60,580	62,580	55,580	
人工	正規	6.0	6.1	8.1	8.9	7.9	
	再任用(31h)	1.0	1.0	1.0			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
年間経費(予算又は決算+A+B)		53,397	53,347	69,609	83,198	71,352	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
04 01 03 01 001505000 03 ごみ減量推進課 鈴木 浩之 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行った。
- ・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行った。
- ・市内集積所でパトロールを実施し、事業系一般廃棄物の減量・適正処理や不当排出防止に関する指導・啓発を行った。
- ・生活環境改善活動団体及び功労者に対する表彰制度に基づき、優良な団体及び個人に対して表彰を行った。
- ・台風15号による災害廃棄物の処理を行った。
- ・大規模災害が発災した場合に備え、関係団体と意見交換を実施した。
- ・浜松市清掃公社、全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議会等との連絡調整を行った。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・一般廃棄物処理業許可事務(更新許可:16件、事業継承に伴う新規許可:1件)、一般廃棄物再生利用業指定事務(延長指定:7件)を行った。
- ・大規模建築物から排出される廃棄物の現状把握と減量・資源化・適正処理の意識を高めてもらうため、同所有者に対して関係計画書の提出と管理責任者の選任を求めると同時に、立入検査を実施した。(計画書提出数:377件、立入件数:60件)
- ・市内集積所200箇所にてパトロールを実施し、14件の指導を行った。
- ・生活環境改善活動団体及び功労者を表彰した。(受賞者:5団体・13個人)
- ・家庭ごみ有料化制度素案に関する説明会を計54回開催した。
- ・災害廃棄物処理に係る研修会への参加(計12回)と庁内研修会(計1回)、関係団体との意見交換(計2回)を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・アフターコロナの社会情勢の中で実施方法について適宜見直しを行う。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・生活環境改善活動団体及び功労者に対する表彰制度の運用の見直しを図った。
- ・家庭系ごみ、事業系ごみについて、使用を見直しごみ質分析調査を行った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・家庭系ごみ、事業系ごみのごみ質分析調査について、調査回数を増やすなどし、精度を高めて実施する。
- ・資源物回収の実証事業を行い、効果的な回収方法について検討を行う。
- ・事業系一般廃棄物に関する事業は新たに「事業系一般廃棄物対策事業」として実施する。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・生活環境改善活動団体及び功労者に対する表彰制度に基づき、優良な団体及び個人に対して表彰を行う。
- ・災害時の迅速な対応が行えるよう、引き続き関連団体との意見交換や必要な研修を行う。
- ・家庭系ごみ、事業系ごみについて、現状把握等のため、本市のごみ質分析調査を行う。
- ・ごみ減量施策の一つとして家庭ごみ有料化の検討を進める。
- ・浜松市清掃公社、全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議会等との連絡調整を行う。
- ・古紙、木製家具類のリサイクルの実証事業を行い、効果を検証する。

事業シート (事業名) 04 一般廃棄物許可収集運搬支援事業(交付金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

原油価格の上昇に直接的な影響を受ける一般廃棄物収集運搬事業者に対し、時限的・緊急的な支援を行うことで、安定的、継続的な一般廃棄物の処理体制を確保することを目的として、一般廃棄物収集運搬事業者支援交付金を予算の範囲内において交付するもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2022	2023	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物処理法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	②生産・消費	④海洋資源							
事業とゴールの関連性			廃棄物処理法に則り、安定的な一般廃棄物の適正処理・減量・資源化に向けた体制を維持していくことは、SDGsゴール11,12,14に関連するものである。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算				9,457	9,550	
	決算				8,634		
	国・県支出					6,015	
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金				8,634	3,535	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)					10,600	8,800	
人工	正規				1.0	1.0	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)				1.0	0.5	
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)					19,234	18,350	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
04 01 03 01 001505000 04 ごみ減量推進課 鈴木 浩之 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

・安定的、継続的な一般廃棄物の処理体制を確保することを目的として、原油価格の上昇に直接的な影響を受ける一般廃棄物収集運搬許可業者に対し、支援交付金を交付した。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・一般廃棄物収集運搬許可業者(51社/対象:56社)に対し、一般廃棄物収集運搬事業者支援交付金を交付した(8,634千円)。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

燃料・物価高騰の傾向は引き続いており、今後も必要に応じて同種の支援を行う可能性があるため、社会経済状況について注視していく必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
燃料・物価高の推移を見極めるとともに、該当業者における影響についても勘案し、必要に応じ支援を実施する。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
2023年度当初においても、燃料・物価の高止まりの傾向が見られることから、引き続き支援の必要性を認める。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

燃料・物価高止まりの状況をふまえ、前年度と同規模にて、一般廃棄物収集運搬許可業者に対し、支援交付金を交付する。

政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 04 南清掃事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後) ◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

政策の柱 (10年後) ◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

・一般廃棄物処理基本計画に基づき、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
・不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	283,723	286,774	299,766	297,323	305,103	
決算	280,528	284,776	297,029	296,077		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	195,700	206,300	205,500	197,000	187,800	
年間経費(予算又は決算+A+B)	476,228	491,076	502,529	493,077	492,903	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ごみ収集委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	-	4	4	4	4	4
		実績	1	4	4	4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

・一般廃棄物処理基本計画に基づき、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
・不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールを毎日実施するとともに、自治会等とも連携して環境美化活動に努めたことにより、地域の住環境を維持することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ収集事業	-	-		492,903	305,103	21.8	2.0		10.0
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					492,903	305,103	21.8	2.0		10.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを安全、衛生的に収集運搬を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1964年	-	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市 ⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	環境上適正な収集廃棄物の管理を実施する。再生利用可能な収集廃棄物の管理を実施する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	283,723	286,774	299,766	297,323	305,103	
	決算	280,528	284,776	297,029	296,077		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	280,528	284,776	297,029	296,077	305,103	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	195,700	206,300	205,500	197,000	187,800	
人工	正規	23.9	24.9	24.9	23.8	21.8	
	再任用(31h)	4.0	5.0	4.0	3.0	2.0	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	5.0	5.0	6.0	7.0	10.0	
年間経費(予算又は決算+A+B)		476,228	491,076	502,529	493,077	492,903	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
ごみ収集委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)		目標	-	4	4	4	4	4
		実績	1	4	4	4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

04

01

03

04

001541000

01

南清掃事業所

鈴木 章良

2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。(南区)
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ・受託業者の事業所へ年4回立ち入り調査を実施し、業者責任者と面談を行い業務の状況を確認することで、業務が適正に行われていることを確認した。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールを毎日行い、住環境の環境美化に努めることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・受託業者への立ち入り調査では、業務状況の確認とそれに伴う適切な指導を行うことで受託業務の質の確保に努めることができた。
- ・ごみ分別の啓発、指導や不法投棄、不当排出パトロールを行うとともに、環境美化活動団体等との連携を図り、衛生的な地域環境を維持していくための環境美化活動を推進することができた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・受託業者の管理を適正に行う。
- ・不当排出パトロール活動マニュアルに従い効率的に業務を行う。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。(南区)
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。

政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 06 平和清掃事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後) ◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

政策の柱 (10年後) ◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

○ごみ関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進する。
○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	641,378	651,202	685,141	692,810	679,874	
決算	641,114	646,909	684,692	681,767		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	107,800	100,800	100,800	100,800	100,800	
年間経費(予算又は決算+A+B)	748,914	747,709	785,492	782,567	780,674	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4		
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理事業)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4		
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

○各委託事業所への訪問を定期的に行い、チェックシートを用いて的確に業務が遂行されているか確認した。内1回は責任者同士で面会して、信頼関係の構築に努める。
○ごみ関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進する。
○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
○受託者とのコミュニケーションのさらなる充実及び受託者、委託者の責任者によ業務の質が担保されているかどうかの確認を行った上で課題に対する共通認識を持って委託業務の品質保持に努めた。
○自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に寄与することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ収集事業	-	-		682,167	582,767	14.0			0.5
2	資源物処理事業	-	-		98,507	97,107				0.5
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					780,674	679,874	14.0			1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	○廃棄物及び資源物の分別収集を指導徹底することにより、廃棄物の発生を抑制する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	551,332	555,711	588,353	595,242	582,767	
	決算	551,069	553,493	588,148	584,575		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	551,069	553,493	588,148	584,575	582,767	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	106,400	99,400	99,400	99,400	99,400	
人工	正規	15.0	14.0	14.0	14.0	14.0	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
年間経費(予算又は決算+A+B)		657,469	652,893	687,548	683,975	682,167	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)		目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
04 01 03 06 001545000 01 平和清掃事業所 宮崎 幹啓 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- 家庭から排出されるごみの収集運搬業務を行う委託業者に対し、衛生的かつ適正に業務を行うよう指導徹底する。
 - ・対象区域: 西区、北区
- 各委託事業所に定期的に担当者が訪問して事業所の様子を確認するとともに、年1回以上所長が各委託事業所の責任者と直接会って情報共有を行った。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- 四半期ごとに担当者が各委託事業所を訪問して担当者が定期的に会うことによりコミュニケーションを強化することができた。
- 所長と各委託事業所の責任者が面会することで現場での課題整理や情報を共有することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 各委託事業所への訪問を定期的に行い、チェックシートを用いて的確に業務が遂行されているか確認した。
- 自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に繋がった。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 天竜区の収集業務応援を2名で行い、通常の収集シフトに組み込んで行っていたものを、そのうちの1人は天竜区の集積所に詳しい職員を乗車させて安全性はもとより効率を上げていく。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- 家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。(西区、北区)
- 受託者とのコミュニケーションのさらなる充実及び受託者、委託者の責任者によ業務の質が担保されているかどうかの確認を行った上で課題に対する共通認識を持って委託業務の品質保持に努める。
- ごみ有料化を見据えて不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。

事業シート (事業名) 02 資源物処理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	—	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費							
事業とゴールの関連性	資源物の適正処理を行うことにより、天然資源の合理的な利活用につなげる。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	90,046	95,491	96,788	97,568	97,107	
	決算	90,045	93,416	96,544	97,192		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	90,045	93,416	96,544	97,192	97,107	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
年間経費(予算又は決算+A+B)		91,445	94,816	97,944	98,592	98,507	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理事業)(回以上)		目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
04 01 03 06 001545000 02 平和清掃事業所 宮崎 幹啓 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

○家庭から排出されるペットボトル及びプラスチック製容器包装の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行った。
・対象区域: 中区、西区、北区
○家庭から排出されるびん類の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行った。
・対象区域: 天竜区を除く区域
○各委託事業所に定期的に担当者が訪問して事業所の様子を確認するとともに、年1回以上所長が各委託事業所の責任者と直接会って情報共有を行った。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

○四半期ごとに担当者が各委託事業所を訪問することにより、これまで以上にコミュニケーションを強化することができた。
○所長と各委託事業所の責任者が面会することで現況や情報を共有することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

○各委託事業所への訪問を各回課題を持って定期的に行った。
○自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に繋がった。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・受託者とのコミュニケーションの充実を図ると共に受託者、委託者の責任者双方による課題のすり合わせを行う等、危機管理を含めて委託業務の品質保持に努める。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

○ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の管理を行う。
○受託者とのコミュニケーションのさらなる充実及び受託者、委託者の責任者によ業務の質が担保されているかどうかの確認を行った上で課題に対する共通認識を持って委託業務の品質保持に努める。

政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 07 浜北環境事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後) ◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

政策の柱 (10年後) ◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

一般廃棄物処理基本計画に基づき、浜北区内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
また、不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロールや啓発活動を行い、安全かつ衛生的な地域環境を維持するための環境美化活動を推進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	308,362	312,056	320,524	322,763	322,872	
決算	304,988	309,729	319,552	310,990		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	185,880	180,160	180,160	186,460	171,260	
年間経費(予算又は決算+A+B)	490,868	489,889	499,712	497,450	494,132	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
受託事業者への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	-	4	4	4	4	4
		実績	-	4	4	4	4	4
受託事業者への訪問及び確認(資源物処理)	回以上	目標	-	4	4	4	4	4
		実績	-	4	4	4	4	4
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

一般廃棄物処理基本計画に基づき、浜北区内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
また、不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロールや啓発活動を行い、安全かつ衛生的な地域環境を維持するための環境美化活動を推進する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
政策の概要に掲げる分別収集の徹底、衛生的な処理については、受託事業者の委託契約仕様書に基づく誠実な履行が欠かせない。それらの確認、検証等のため受託事業者へ訪問を年4回実施し、委託契約仕様書に則り、適正に業務が執行されていることを確認した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ収集事業	-	-		412,406	272,646	17.8	3.9		0.4
2	資源物処理事業	-	-		57,261	49,561	1.1			
3	浜北環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)	-			24,465	665	3.2			0.5
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					494,132	322,872	22.1	3.9		0.9

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを、適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	②生産・消費								
事業とゴールの関連性		適正なごみ収集、リサイクルの推進等が、廃棄物の発生を減少化させたり、環境上における悪影響の軽減に繋がる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	263,818	266,227	270,059	272,067	272,646	
	決算	260,560	263,869	269,229	260,410		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	260,560	263,869	269,229	260,410	272,646	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		126,880	149,360	149,360	154,260	139,760	
人工	正規	17.8	19.0	19.0	19.7	17.8	
	再任用(31h)	0.4	1.9	1.9	1.9	3.9	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	3.4	3.4	3.4	0.4	
年間経費(予算又は決算+A+B)		387,440	413,229	418,589	414,670	412,406	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜北区内の家庭系一般廃棄物の内、可燃・不燃ごみの区民一人1日あたりの排出量(g)		目標	420	—	—	—	—	—
		実績	487.8	—	—	—	—	—
受託事業者への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)		目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・浜北区の家庭から排出されるごみの効率的かつ衛生的な収集運搬
- ・不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・ごみ収集運搬委託業務の管理



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

受託事業者へ年間4回の訪問を実施し、委託契約仕様書に基づく適格な業務が行われていたことを確認した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

市の委託する業務を行う受託事業者を見る市民の目は、市と同様に厳しいものがあるため、言動には十分な注意が必要である。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

職員が行っている連絡ごみの回収や排出者が自ら搬入するごみの受入業務、また、不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロール、ごみ集積所の管理についても、各々のマニュアルに従い効率的に業務運営を図ることができた。受託業者が実施した収集運搬業務も概ね順調であった。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

職員による直営の業務は、従来どおりマニュアルに沿った適切な業務を継続し、効率的、効果的な作業を心掛ける。収集運搬委託業務については、受託事業者への訪問を重ね、市民の信頼を得られる業務としての一層の定着を図っていく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- 浜北区の家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。
- 不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。

事業シート (事業名) 02 資源物処理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1997	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		資源物の再利用事業により廃棄物の発生を削減できる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	43,847	44,248	49,561	49,561	49,561	
	決算	43,846	44,245	49,561	49,561		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	43,846	44,245	49,561	49,561	49,561	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		35,200	7,000	7,000	8,400	7,700	
人工	正規	3.2	1.0	1.0	1.2	1.1	
	再任用(31h)	3.4					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2					
年間経費(予算又は決算+A+B)		79,046	51,245	56,561	57,961	57,261	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
みどりのリサイクル受入件数 (※2018年～)		目標	5500	—	—	—	—	—
		実績	5113	—	—	—	—	—
受託事業者への訪問及び確認(資源物処理)(回以上)		目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・浜北区の家庭から排出される資源物の収集運搬
- ・スチール缶、アルミ缶等の売払い
- ・自己搬入される資源物の受入れ
- ・市民への資源物についての啓発
- ・資源物中間処理委託業務の管理



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

受託事業者へ年間4回の訪問を実施し、委託契約仕様書に基づく適格な業務が行われていたことを確認した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

プラスチック製容器包装ごみのリサイクルには、多くの関心が集まっているため、よりの確な業務処理が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

受託事業者が実施したプラスチック製容器包装、ペットボトルの資源物中間処理業務は、訪問時における確認等においても問題はなく、日本容器包装リサイクル協会の評価も高く順調であった。

また、家庭から排出され回収したスチール缶、アルミ缶量は、前年度より減少した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

市民には、資源物としての排出啓発を継続し、中間処理委託業務については、受託事業者への訪問を重ね、市民の信頼を得られる業務としての一層の定着を図っていく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の管理を行う。

事業シート (事業名) 03 浜北環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	
------------	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	697	1,581	904	1,135	665	
	決算	582	1,615	762	1,019		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	582	1,615	762	1,019	665	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		23,800	23,800	23,800	23,800	23,800	
人工	正規	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
年間経費(予算又は決算+A+B)		24,382	25,415	24,562	24,819	24,465	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 09 天竜環境事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後) ◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

政策の柱 (10年後) ◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	314,956	309,743	307,760	308,018	317,971	
決算	310,707	307,270	307,017	305,190		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	133,800	140,900	135,100	136,400	142,800	
年間経費(予算又は決算+A+B)	444,507	448,170	442,117	441,590	460,771	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績		4	4	4		
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績		4	4	4		
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理ができた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底するように指導し、衛生的な収集運搬処理ができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ収集事業	-	-		426,371	297,291	12.4	7.0		6.1
2	資源物処理事業	-	-		22,669	17,769	0.7			
3	天竜環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)	-	-		11,731	2,911	0.9			0.9
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					460,771	317,971	14.0	7.0		7.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを、適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1970	-	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行うとともに、家庭から排出されるごみを安全・衛生的に収集運搬することにより以下のゴールを目指す。 ・廃棄物の管理に特別な注意を払い環境上の悪影響を軽減する。 ・食料の廃棄を半減させ、食品ロスを減少させる。 ・廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	296,724	292,708	288,635	286,440	297,291	
	決算	292,786	290,403	288,220	284,027		
	国・県支出						
	市債						
	その他					26,000	
	一般財源	292,786	290,403	288,220	284,027	271,291	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	117,960	127,580	122,080	122,680	129,080	
人工	正規	13.2	13.1	12.2	12.4	12.4	
	再任用(31h)	7.1	8.8	7.0	6.0	7.0	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		1.5	4.1	5.1	6.1	
年間経費(予算又は決算+A+B)		410,746	417,983	410,300	406,707	426,371	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)		目標		4	4	4	4	4
		実績		4	4	4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

04

01

03

09

001549000

01

天竜環境事業所

高村保計

2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託(天竜区)業務の適切な管理を行った。
- ・天竜区佐久間地区、水窪地区の家庭から排出されるごみを、衛生的に適正に収集運搬を行った。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物の収集運搬を行った。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の委託業者に対して、4回訪問調査を行い、仕様書に定められた業務内容どおりに適切に遂行していることを確認した。
- ・天竜区佐久間地区、水窪地区の家庭から排出されるごみを、安全に衛生的に収集運搬を行うことができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の委託業者に対して、定期的に訪問調査を実施し、業務の遂行状況を確認した。
- ・職員を適正に配置し、直営収集業務の体制を維持するとともに平和清掃事業所及び浜北環境事業所から業務応援を受けた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の受託者の管理を適正に行う。
- ・直営収集業務の体制を維持(職員を適正に配置)していく。
- ・新清掃工場施設整備後の収集体制見直しを進めていく。
- ・令和4年度末で浜北環境事業所からの業務応援は終了。直営収集は職員の増員で対応する。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託(天竜区)業務の委託業者への適切な指導を行う。
- ・天竜区佐久間地区、水窪地区の家庭から排出されるごみを、直営で収集運搬を行う。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物の収集運搬を行う。
- ・新清掃工場施設整備後の収集体制見直しを検討する。

事業シート (事業名) 02 資源物処理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(法令義務)	容器包装リサイクル法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の管理を行い、資源物の再商品化率を上げることにより再生利用や再利用ができ、廃棄物の発生を大幅に削減できる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	15,577	15,719	17,758	17,789	17,769	
	決算	15,577	15,719	17,716	17,715		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	15,577	15,719	17,716	17,715	17,769	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	9,520	7,000	6,300	4,900	4,900	
人工	正規	1.0	1.0	0.9	0.7	0.7	
	再任用(31h)	0.7					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		25,097	22,719	24,016	22,615	22,669	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)(回以上)		目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
04 01 03 09 001549000 02 天竜環境事業所 高村保計 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者への適切な指導を行った。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者に対して、4回訪問調査を行い、仕様書に定められた業務内容どおりに適切に遂行していることを確認した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者に対して、定期的に訪問調査を実施し、業務の遂行状況を確認した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の受託者の管理を適正に行う。
・ガラスびんの再資源化業務を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者への適切な指導を行う。
・ガラスびんの再資源化業務を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。

事業シート (事業名) 03 天竜環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

天竜環境事業所の業務を円滑に運営していく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,655	1,316	1,367	3,789	2,911	
	決算	2,344	1,148	1,081	3,448		
	国・県支出				980		
	市債						
	その他						
	一般財源	2,344	1,148	1,081	2,468	2,911	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	6,320	6,320	6,720	8,820	8,820	
人工	正規	0.8	0.6	0.6	0.9	0.9	
	再任用(31h)	0.2	0.2				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.5	0.9	0.9	0.9	
年間経費(予算又は決算+A+B)		8,664	7,468	7,801	12,268	11,731	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

04

01

03

09

001549000

03

天竜環境事業所

高村保計

2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・予算、庶務等に関する一般的な事務の実施。
- ・周辺住民との連絡調整の実施。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)



(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

小項目

/

事業費

人工

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

小項目

/

事業費

人工

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)



- ・予算、庶務等に関する一般的な事務の実施。
- ・周辺住民との連絡調整の実施。